

広報

おのまち

平成18年
No.523

9



行く夏を惜しんで
にぎわおう夏まつり

8月15日開催
「おのまち夏まつり」
のようす

おのまち夢企画

おのまち夢企画は、自分自身の描く小野町への「夢」や「思い」を自由に提案できる制度です。

提案の募集は、今年の広報おのまち6月号でお知らせしたところですが、7月末の時点で既に7件の提案が寄せられています。早速の提案ありがとうございます。今月からは、お寄せいただいた提案の内容と対応について、随時お知らせしていきます。また、小野町のホームページでもお知らせしています。

なお、提案内容と対応についてみなさんにお知らせできるのは、提案を月単位で取りまとめ、翌月に検討を行っている関係で、提案した月の3ヶ月後となります。どうかご了承願います。

今回お知らせするのは、6月中旬にお寄せいただいた2件の提案です。提案は随時受け付けていますので、この機会に是非ご提案ください。

「大型バス、大人数で食事ができる場所」の整備について

（提案内容）

観光バスが小野町に来て、何台も一緒に駐まり大勢の人が食事したり、トイレに行く所がありません。

小野町に折角来てくれたお客様に失礼と思います。

まして、小野町の発展にもならず、利益にならず、交通渋滞を引き起こすだけです。もっと、来てくれたお客を利用できるように考えてはいかがでしょうか。

（回答）

「ご提案の趣旨は、「道の駅」などに類似する施設整備ということかと思えます。

同様の施設は、町民の方々からも要望があるところですが、予算措置の問題などで実現していません。引き続き検討して参りたいと考えています。

「ご提案のとおり、お客様から食



大勢の花見客で賑わう夏井の千本桜

事場所等の問い合わせもあり、例として「おのショッピングプラザ」をはじめとする民間施設のご案内は行っているところです。また、トイレの件としては、桜のシーズンには町駐車場に仮設トイレを設置し、観光客に不便を来たさないように配慮しています。

なお、町内飲食店については、今後ご提案の趣旨をお伝えし、商工会等と連携して観光協会ホームページでご案内できる体制を整えたいと考えています。



◆担当課

小野町役場企画課

◆電話

72-6939

◆ファックス

72-3121

◆電子メール

kikaku

@town.ono.fukushima.jp

こまちダムの 活用方法について

(提案内容)

もう少しするとダムが完成しますよね？ブラックバスの釣りが出来るダムにするのはどうでしょうか？害魚とイメージがよくありませんが・・・。

河口湖町では、ブラックバスを上手に利用して活性しています。

遊漁料1日1000円でも釣れば皆払ってくれますし、ボート屋も町営にしてしまえば莫大なお金が町に入ると思います。周りのコンビニ、自販機などは売り上げが増えますし、遊漁料を集める人、ボート屋を管理する人、清掃する人など雇用も安定すると思います。人口も増えて来るのではないかと。

どうせバスをゲリラ放流されると思います。逆に利用してしまえばいいのではないのでしょうか？バスの駆除に金をかけるのなら、『バスの釣れる町』『バスを引き取る町』『しかし遊漁料はいただきませす』『ルールを守って楽しいバス釣りを…』とすれば街の活性化に繋がるのではないのでしょうか？週末には賑やかな町になると思います！

(回答)

こまちダムは、平成6年度に福島県が事業主体となり、旧建設省の事業採択を受け、洪水調節、既得取水の安定化・河川環境の保全及び上水道用水の供給を目的に建設を進めてきました。いよいよ平成19年3月には完成の運びとなります。



憩いの水辺としても期待されるこまちダム

河口湖町では、ブラックバスをうまく活用し町の活性化を図っているようです。もともと魚釣りで有名だった河口湖は、ブラックバス釣りの人気が高まり、釣り人の増加とともに河口湖周辺の違法駐車、排せ行為による環境汚染、釣り糸、擬似餌の放置による生態系への影響が深刻化し、観光地の衰退につながるものといった問題が起ったことから、「遊魚税」(遊魚券購入時に200円)の導入に踏み切ったようです。

さて、ご提案の内容について調べたところ、国では平成17年6月に施行された「外来生物法(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)」により、オオクチバスなどの外来生物を放してはならないという規制を行っています。

県では、福島県内水面漁業調整規則により、水産動物の移植の制限をしていて、「ブラックバス(オオクチバス、コクチバスその他のオオクチバス属の魚)」と「ブルーギル」が制限の対象に指定されています。



パンフレットによるお知らせ

また、漁業権を有する夏井川漁業協同組合では、在来種保存のためブラックバス等の移植許可には「同意しない」としています。

さらに、周辺住民やダム地権者会などからは、水質保全のため禁漁区に出来ないかといった意見も出されています。

このような状況から、こまちダムにおいては、在来種を保存しながら、憩いの場として、自然と共生した豊かで、美しい環境を構築していきたいと考えています。

第15回『中学生の翼』 帰国報告

今年度、第15回目となった中学生海外派遣事業「中学生の翼」に参加した団員並びに引率者は、10日間の研修を終え、7月30日に無事帰国しました。

団員は、米国でのホームステイ体験を通し、英会話の実践や自立心を培いました。

団長並びに団員の帰国報告を紹介します。

帰国報告

団長（小野中学校長）

矢内 今朝見

「平成18年度中学生の翼」の団員15名と引率者3名は、去る7月21日より30日まで、米国グリーンロック町にホームステイし、研修を行ってまいりました。

本事業が節目の15回目を迎えたことから、日程の前半を穴戸町長にも同行していただきました。

以下、概要を報告いたします。

21日、町議会議長、助役、教育長、団員の家族のみなさんに見送られ、公民館前を定刻出発。私たちを乗せたコンチネンタル航空機は、機体整備のため一時間遅れで成田空港を離陸。

目的地「ニューアーク空港までの飛行距離は1万819キロメートル、およそ11時間の飛行。」

〈これより現地時間〉

21日。16時16分、ニューアーク空港着陸。激しい雷雨のため、

機内に一時間足止め。

緊張の中、入国審査、税関を無事通過。到着口ではステイブン（クリスティンの夫）が出迎えてくれた。

19時、バスで、グリーンロック町へ向け出発。異国の風景に団員たちは興奮気味。

約一時間でグリーンロック町に到着。予定より二時間遅れたが、ヴァン・キューレン町長をはじめ、ホストファミリーが歓迎会場の町ホールで出迎えてくれた。

軽い食事の後、キューレン町長は日本語で歓迎の言葉を述べ、穴戸町長は英語で応えた。交流15年を記念し、グリーンロック町から記念の盾が、小野町からは富士山と夏井本桜の写真が贈られた。

その後、ホストファミリーと団員が紹介され、いよいよホームステイの始まり。

22日、23日。各ホストファミリーの計画による自由行動。英

語だけの生活に軽いホームシックを味わった団員もいたが、全員元気。

24日。バスで二時間、ホストファミリーと共にポイントプレセントビーチを訪れた。初めての大西洋の波に誰もが興奮。

25日。グリーンロック町内見学。町立図書館、救急隊本部、消防署、警察署を訪問。積極的に質問する団員の姿も。町のホールでの昼食時には、バーゲン郡の郡長さんもおいでくださった。

午後は、グリーンロック中学校、高校を見学。メモを取りながら熱心に説明に耳を傾ける団員の姿に、説明役の教頭先生もしきりに感心。

26日。ニューヨーク市内見学。最初に国連本部を訪問。厳重なセキュリティチェックを受け、日森三世の案内で安保理議場や総会議場を見学し、国連の役割についても理解を深めた。

セントラルパークで昼食をとり、メトロポリタン美術館を見学。日本人のボランティアガイドの案内で、短時間であったがその素晴らしさを実感。

タイムズスクエアの混雑振りにも驚いた。

レストランで、ボリュームたっぷりの夕食。アフリカンドラムショーを見学した後、ニューヨークの美しい夜景を見ながら帰路に。ハードな一日だった。

27日。ニューヨークのシンボル「自由の女神」を見学。米国の歴史にも触れ、忘れることのできない思い出となった。

午後、お別れ会の会場であるグリーンロック市民ホールに到着。午後6時、お別れ会が始まった。キューレン町長は所用のため出席されなかったが、ナップ議長が出席された。

バイキング料理を楽しみながら交流を深め、団員全員で歌を三曲（小野中の校歌、上を向いて歩こう、そして英語でカントリーロード）披露した。全員が心をついに気持ちを込めて大きな声で歌った。会場は大きな拍手に包まれ、団員の顔には自然と笑みがこぼれた。

団員からホストファミリーへお礼のメッセージと花束を贈り、記念撮影。明日はお別れということで、涙を流す団員も。団員に対する賛辞の言葉をわざわざ団長に伝えてくれたホストもあった。

感動的なお別れ会であった。28日。午前、クラフトスクールで「思い出アルバム」の制作に取り組んだ。続きは、日本で。午後は、出発準備。

19時、ホストファミリーと共にグリーンロック高校駐車場に集合。全員で記念写真を撮り、涙ながらに別れを惜しんだ。バスの中で、号泣する団員の

姿が忘れられない。

その夜は、ニューアーク空港近くのホテルに宿泊。

29日。7時にホテルロビー集合。空港に向かった。

出国手続きは比較的容易に終了し、搭乗を待つ団員たちは元気そのもの。

12時に空港を離陸。

日本時間、30日、14時17分、成田空港に着陸。

到着ロビーで、公民館長と十日ぶりに再会。帰路のバスの中でも団員は、すこぶる元気。

町長、教育長をはじめ、多数の出迎えを受け、無事帰国。

家族と離れ、米国の家庭の一員として生活した経験は、15名の団員にとり、かけがえのない貴重な宝物となった。

穴戸町長をはじめ関係者の方々、そしてこの事業のコーディネーターを務めていただいたクリスティン夫妻、そしてホストファミリーのみなさんにあらためて感謝し、帰国報告いたします。



小野中 2年4組

先崎 建

僕がこのサマーキャンプで学んだことは、アメリカはスケールが大きいということです。水力発電の川、自由の女神など様々です。アメリカは思った以上にすごい所でした。特に海では、波が日本よりも大きく、入ってすぐに飲まれてしまいました。また、天気はアメリカの方が良いと思っていましたが、大変暑く湿気の多い所でした。

その様な場所、お世話になったホストファミリーの人達に本当に感謝しています。日本とアメリカという、言語も文化も違う所でも、心で通じあう事に変わりはありませんでした。本当に素晴らしい家族でした。個人的にいろいろ恩返しをしたいと思っています。本当にありがとうございました。



小野中 2年4組

会田 和樹

僕が研修で一番良く学んだことは、やはり英語に関する事だと思います。アメリカの人の発音を生で聞き、相手に伝わる英語を話せるようになったことが最大の収穫だったと思います。また、友達との関係の面でも収穫がありました。友達の普段の学校生活とは違った一面を見ることができ、さらに親しくなることができました。さらに、友達同士で色んな所で大いに遊び大いに遊んだことも、楽しいことでした。今後は、研修で培った国際的な感覚を、国際交流等に生かしていこうと思います。

小野中 2年1組

橋本 知佳

私は、この研修を通してたくさんのお話を学びました。英語はもろもろのこと、あいさつの大切さ、生活や食文化の違いなど、細かいところも知ることができました。今まで知らなかったことが、分かるようになり、とても良かったです。

ホストファミリーの方も、とってもやさしく接してくださったので、良い思い出もたくさんありました。

この10日間は、初めてのことがたくさんあり、とっても戸惑いました。でも、先生方のおかげで、思い出作りができたと思います。

この体験は、一生忘れられない良い経験になりました。



小野中 2年4組

先崎 薫

アメリカで10日間という短い時間を過ごして、多くのことを学ぶことができました。

アメリカで生活していく中で、言葉が通じないことが一番大変でした。いざ、英会話をしてみると、発音が悪かったせいか通じないことが多くありました。

アメリカと日本との違いでは、日本では普通、使用中、使用後ともにトイレのドアは閉めますが、アメリカでは使っていないときは開けておくという習慣があります。他にもいろいろな習慣の違いがあります。

アメリカで学んできたことや思い出を忘れずに、これからの生活や勉強に生かしていきたいです。



小野中 2年3組

村上美那子

私は今回の研修を経て、自分自身が大きく成長したと思います。

慣れない土地でのホームステイで言葉が通じず、何度ももどかしかったこともありました。

しかし、そんな時でもホームステイ先のオロウークファミリーは、辞書を使ったり、身振り手振りしたりして、私に一生懸命話しかけてくれました。発音の違いで名前を呼んでも通じないときがあり、発音が大切なことも分かりました。

アメリカで過ごした10日間は、私にとってどれも初めての体験で、勉強にもなり今後に生かしたいと思いました。自分から積極的に話しかけることもでき、英会話の上達、また自信にもつながったと思います。



先崎薫さん(右)

小野中 2年3組

永田 真理

私は今回、この研修に参加して本当によかったと思っています。たくさんの人と出会えて、たくさんの場所に連れて行ってもらうって、たくさん生の英語が聞けて…。たくさんのお出来事と出会ったことでのいろいろな面が成長できました。

この研修は、アメリカ人との交流を深めるだけでなく、友達や先生方などいろいろな日本人とも交流を深めることができました。たくさん交流できた分、別れはとても辛いものでした。みんな大泣きでした。ホストファミリーの人なども泣いていました。私は、また今度グレンロックに行く約束をしました。今度アメリカに行く時のためにも一生懸命勉強したいです。



小野中 2年1組

小泉 将

僕はこのサマーキャンプで、たくさん楽しみ、たくさんのごとを学びました。

特に僕が日本との違いを感じたことは食事です。アメリカでは、朝はほとんどシリアルでした。

そして、夕食はとても量が多い食事でした。僕は、アメリカに行く前にいろんな人たちからアメリカの食べ物物の量は多いと聞いていましたが、僕の想像を超える多さでした。

あと、このサマーキャンプを通して、団員の人たちやアメリカの人たちと仲良くなることのできたので良かったです。このサマーキャンプで学んだことを生かしていきたいです。

小野中 2年3組

渡辺 治樹

僕は研修に行つて、たくさん思い出ができました。

ホストファミリーの人達は色々声をかけてきてくれて、僕達も授業で習った英文などを使ってコミュニケーションを取りました。

自由時間はホストファミリーと会話をしたり、ランプやウノなどをしました。晴れている日は外でサッカーをしました。

このサマーキャンプは僕にとつていい思い出となり、いい経験になりました。本当にこのサマーキャンプに参加して良かったと思います。



渡辺治樹くん(左)

先崎未奈さん(右から1人目)



小野中 2年2組

先崎 未奈

私がこの研修で学んだことは、日本とアメリカの文化の違いです。

日本と違い、お風呂がシャワーだったり、主食がご飯ではなくパンだったり、シャワーとトイレが一緒だったり、日本と違ったところがたくさんあり、とても大変で、毎日が驚きの連続でした。

しかし、もっと大変だったのが言葉の違いでした。思った以上に大変で伝わらないときもありましたが、ホストファミリーが手助けしてくれました。そのおかげで会話も出来るようになり、笑顔も増えました。

この研修を通していろいろなことが学べました。私はこの一週間の忘れません。

小野中 2年2組

吉田 育未

私のサマーキャンプの抱負は、文化や生活のしかたの違いに触れることと、本物の英語に触れて英語力を上げることの二つでした。

ホームステイ先の人達にもあたたかく迎えられて、きれいで大きな家に泊まらせてもらいました。私の泊まった家は靴を脱いで家の中に入るので、アメリカでは普通、なぜ靴を脱がないのかを訊くことができました。

英語はスピードが速く、答えるのがやっとながら、英語力はすぐついたと思います。

私はこの研修でたくさんのごとを学び、人の温かさに触れることができました。今後、この研修で学んだことを生かし、生活していきたいです。



吉田育未さん(左)



小野中 2年4組
大千里 恵

私は、サマーキャンプへ行つて良かったと思っています。なぜなら、ホストファミリーは優しく接してくれて、私たちを歓迎してくれたからです。また、今年は町長さんも参加されたので、とっても良かったです。

アメリカでは、日本と生活の仕方が違うので、少し大変でした。日本語では話せないと思うと、もっと大変だなと思いましたが、でも、辞書を引き、例文を基に少し単語を変えて話をしました。とても勉強になり、楽しかったです。身振り手振りで一生懸命話したりしましたが、通じたと思うと、とっても嬉しかったです。

本当に勉強になり、サマーキャンプへ行って良かったと思います。

小野中 2年4組
大内田優理

私が、今回の中学生の翼の研修で身にしみて学んだことに、「習うより慣れろ」があります。

私は、英語能力向上ということを目指の一つにしましたが、最初のうちは、思うように話せず困ってばかりでした。

三日目から、積極的に会話ができ、楽しく過ごせました。

メトロポリタン美術館・国連本部・自由の女神・タイムスクエア・ミュージカル鑑賞、すべて初めて見るもので、新鮮でスケールの大きさに驚きました。一番印象に残ったのは、ミュージカル鑑賞に客席でポンゴを打ち、参加したことです。

研修参加の機会を与えて下さり、ありがとうございました。



大内田優理さん(右)



小野中 2年3組
菅森 麻希

私にとって、アメリカのグレンロック町でのホームステイはとても楽しいものでした。

ホストファミリーの方々は、とても親切にしてくれて、すごく嬉しかったです。私は、他のホストファミリーとも交流を深めることができ、友達になれました。

私には日本人の友達がいりしたので、いろいろな面白い話などが聞けたり、とても心強い存在だったので良かったです。アメリカの救急隊と消防署は地域の人々のボランティアによって行われていたので、とてもびっくりしました。

私は、アメリカの知らないところを知ることができたり、アメリカ人との交流を深めることができたので、とてもいい経験になったと思います。

小野中 2年2組
草野 未来

アメリカで過ごした10日間は、私にとってとても楽しく、貴重な体験ができた日々でした。

アメリカでは、日本と違う生活習慣で戸惑いを感じましたが、ホストファミリーの方々が優しく教えてくれ、悩むことなく用事をすませることができました。言葉の違いという大きな壁もホストファミリーが辞書などを使って伝えてくれ、日常的な会話も楽しむことができました。

やるのが初めてのことが多く大変でしたが、精神的な部分が大きくなったと思います。

私は、サマーキャンプで最高の思い出が出来ました。それも引率の方が見守って下さった人達のお陰だと思います。



草野未来さん(右から2人目)

宗像真由美さん(左)



小野中 2年3組
宗像真由美

私は、今回の研修でたくさんのことを学びました。そして、自分が立てた目標を達成することができました。その中で、私の心に残っていることは、消防、救急の人達が、ボランティアで行っているということです。

また、アメリカの学校では、高校の3年生までが義務教育で高校を卒業した90%の人が大学に進学するということです。

私は、今回の研修で、アメリカ合衆国と日本の文化との違いを学ぶことができました。

そして、自分の英語力を確かめることもできました。この研修で学んだことを、これからの生活に生かしていきたいです。

第1回福島県消防協会田村支部

消防操法大会開催

7月16日、三春町営運動場において、第1回福島県消防協会田村支部（田村市、三春町、小野町）消防操法大会（小型ポンプ操法の部）、（ポンプ車操法の部）が行われました。

競技は、団員が迅速で正確な消防操法を身につけ、技術の向上と士気の高揚を図り、火災の鎮圧にあたって有効適切な消防活動を確保することを目的として2年に1度開催されるものです。

大会には、小野町消防団の各班より選抜された選手11名が小型ポンプ操法の部、ポンプ車操法の部に分かれ小野町消防団の代表として、出場しました。



選手のみなさん

結果は惜しくも、優勝を逃しましたが、選手たちは、きびきびとした動作で、日頃の練習の成果を十分に発揮し、見事な操法実演を披露しました。

今大会において活躍された選手のみなさん、本当にお疲れ様でした。また、大会にご協力いただいたみなさんに誌上より厚く御礼申し上げます。

消防車両を寄贈

8月10日、役場町長室において、消防ポンプ車輈の贈呈式が行われました。

これは、（株）ウイズウエイストジャパン（山田耕社長）より「お世話になってる小野町のために少しでも役に立ちたい」との意向により、町に消防ポンプ車輈（平成6年式）を寄贈いただいたものです。

引き続き、小野町消防団へ消防ポンプ車輈の引渡し式が行われ、引渡書が穴戸町長から亀田消防団長へ交付されました。

今回、配置された消防ポンプ車輈は、町の防火活動推進のため、また、町民の生命財産を守るため活躍が期待されます。

寄贈いただきました、（株）ウイズウエイストジャパンに対しまして、紙上より厚く御礼申し上げます。



寄贈された消防車両と山田社長（右）、穴戸町長

平成18年秋の全国交通安全運動

「反射材 あなたの命の 守り札」

運動期間

9月21日（木）～30日（土）までの10日間

運動の基本

高齢者の交通事故防止

運動の重点

- 1 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 2 後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 飲酒運転、速度超過など悪質・危険な運転の追放

小町ふれあいフェスタ開催

10月28日（土）・29日（日）

小野町産業祭・文化祭が、「小町ふれあいフェスタ」と名称を改め、10月28日（土）、29日（日）小野運動公園において開催されます。

今年から小野警察署が、「田村東部地域安全・安心の集い」のテーマで参加することとなりました。

地場産品の展示・即売、キャラクターショー、菊花・盆栽展、幼児及び小中学校作品展、県警音楽隊による演奏会、白バイ・パトカーの体験試乗会等、気軽に参加できるイベントも沢山予定しています。

詳しくは、10月下旬に発行予定の新聞折り込みチラシをご覧ください。



昨年の産業祭・文化祭のようす



国民健康保険被保険者証 (保険証)の更新について

保険証の有効期限は、平成18年9月30日までとなっております。

新しい保険証が届いたら、古い保険証は役場町民生活課へ返却してください。

新しい保険証(有効期限が平成19年9月30日までのもの)は、今年度も9月下旬に郵送でお送りします。

◆問い合わせ
町民生活課 ☎72-6933

無料調停相談会のお知らせ

と き

平成18年10月16日(月) 午前10時～午後5時

と ころ

船引公民館(田村市船引町)

相 談 内 容

土地・家屋・金銭貸借・サラ金問題・交通事故など
家事関係
婚姻・離婚・離縁・子の親権・相続・暴力など家庭内の出来事

相 談 員

民事調停委員、家事調停委員及び弁護士

※相談はすべて無料です。秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

※ご予約はごりませんで、当日会場にお越しください。

連 絡 先

福島地方裁判所郡山支部 ☎024-932-5656

主 催

郡山調停協会・日本調停協会連合会

後 援

最高裁判所

水道水水質検査 結果について

7月に実施した水質検査結果は、表のとおりです。

試験項目	水質基準	試験結果
一般細菌	100CFU/ml以下	0CFU/ml
大腸菌	検出されないこと	検出せず
塩化物イオン	200mg/l以下	7.1mg/l
ジェオスミン	0.0001mg/l以下	<0.00001mg/l以下
2-メチルイソボルネオール	0.0001mg/l以下	<0.00001mg/l以下
有機物(TOC)	5mg/l以下	0.8mg/l
pH値	5.8～8.6	7.0
味	異常でないこと	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし
色度	5度以下	<1度
濁度	2度以下	<0.1度

◆問い合わせ
地域整備課 ☎72-6936

発売期間9月25日～10月31日

オータムジャンボ宝くじ

1等前後賞合わせて2億円

この宝くじの収益金は市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

国民年金コーナー

国民年金保険料の納め方について

平成18年度の国民年金保険料の月額額は、13,860円です。保険料は、平成17年4月から毎年280円ずつ引き上げられ平成29年4月に16,900円で固定されます。

◆問い合わせ
郡山社会保険事務所
☎024-932-3480
町民生活課
☎72-6933

保険料の納め方は、送付された納付書で毎月納めることとなりますが、納め方は次の方法がありますので、ご自身の都合に合わせて納め方で確実に納付しましょう。

▼納め方

- ①金融機関(郵便局・銀行・農協・漁協・信用組合・信用金庫・労働金庫)の窓口
- ②必要なもの: 納付書
- ③コンビニエンスストア
- ④必要なもの: 納付書
- ⑤必要なもの: 納付書
- ⑥必要なもの: 年金手帳 または 納付書(基礎年金番号が分かる書類)、金融機関届出印
- ⑦電子納付(インターネットバンキングなど)

※別途金融機関等との契約が必要になります。なお、前納などにより

(別表)

前納	納付期間	納付方法	納付額	年間割引料	備 考
前納	12ヶ月	口座振替	162,830円 (3,490円割引)	3,490円	(4月分～翌年3月分)4月末日に振替
		現金納付	163,370円 (2,950円割引)	2,950円	
	6ヶ月	口座振替	82,220円 (940円割引)	1,880円	(4月分～9月分)4月末日に振替 (10月分～翌年3月分)10月末日に振替
		現金納付	82,480円 (680円割引)	1,360円	
毎月	毎月	口座振替	13,810円 (50円割引)	600円	当月末日に振替(早割制度)
		現金納付	13,860円	0円	翌月末日に振替

※末日が土・日曜日、祝祭日の場合は金融機関の翌営業日に振替になります。
 ※口座振替の開始は、申込みのあった翌月末からとなります。
 ※振替ができなかった場合は、毎月、翌月末日振替(割引なし)になります。
 ※申し込み手続きは、郡山社会保険事務所または小野町役場町民生活課までお問い合わせください。

住民健診の「結果相談会」を実施します

健診の結果相談会を開催します。詳しい案内は、結果通知に同封いたしますので、お気軽においでください。

- 実施日 9月25日(月)、26日(火)
- 受付時間 10時～11時30分
- 場 所 母子健康センター
- ◆問い合わせ
健康福祉課 ☎72-6934

個別基本健診を実施しています

住民総合健診を受けられなかった方を対象に町内の医療機関で受ける「個別基本健診」を実施しています。

- ◆実施期間
9月1日(金)～12月25日(月)まで
希望される方は、健康福祉課にお申込ください。
- ◆申込・問い合わせ
健康福祉課 ☎72-6934



いろいろな名札づくりを
楽しむ親子



ボランティアの吉田さん
(右)と嶋原さん(左)

キッズ・クラブのご紹介

「キッズ・クラブ」は、地域ボランティアの吉田さん、嶋原さんが、6月から月1回、保健福祉センターで開催しています。子育てをしている親子を対象に歌や手遊び、お話を楽しくほいほいと毎回様々な工夫をして取り組んでいます。地域の中でいろいろな人とふれあい、子育てを楽しみながら過ごす場となっています。

◆問い合わせ 健康福祉課 ☎72-6934

開催日程の詳細については、お問い合わせください。

結核予防週間 9月24日～30日

県内では年間280名の方が新たに結核にかかっている状況です。自分が結核だと気づかずに周りの人々にうつしてしまうことがあるため、予防や早期発見が大切です。

体の抵抗力を維持するためには食事や睡眠など規則正しい生活を送りましょう。

また、咳や微熱、倦怠感などの症状が続くときは、早期に医療機関で受診しましょう。

10月10日の献血にご協力を!

献血にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。「いのち」を維持する大切な血液は、人工的に造ることができないものです。そのため輸血用血液をいつでも十分に確保しておくために、多くの方の献血へのご協力をお願いします。

10月10日(火) 移動採血車運行日程

<1号車>

役 場 → オリーブコーポレーション → 東レACE福島工場 → 小野高等学校
10:00～11:00 11:45～12:45 14:00～15:00 15:40～16:30

<2号車>

東栄化成小野工場 → アドバネクス福島工場 → 日本クリーンシステム → 小野高等学校
10:00～11:10 11:50～13:00 14:00～15:00 15:40～16:30